

宗学科 法華仏教コース／日本宗教・文化コース

仏教学科 文化遺産・芸術コース／歴史・思想コース

※このコース名称は、令和7（2025）年度以降の入学生から適用されます。

令和6年度 国内仏教文化研修 報告

—みちのくの仏像と宮沢賢治の信仰—

立正大学仏教学部では「国内仏教文化研修」を開講し、日本における仏教文化に直に触れ、理解を深める機会を設けております。当研修は4年間の学習において毎年度受講することができ、また社会人オープン講座の科目でもあります。

今年度は令和6年9月8日～10日にかけて、「みちのくの仏像」とともに宮沢賢治の足跡を訪ねることをテーマとして、東北地方の寺院や施設を巡りました。一日目は、二戸の天台寺に赴き、桂泉観音として著名な尊像を含めた諸仏を拝観し、浄法寺漆についても学ぶ機会を得ました。二日目は、みちのくの仏像の代表格である成島の毘沙門天像と黒石寺薬師如来像を拝観するとともに、宮沢賢治ゆかりの寺院や記念館を巡りました。最終日は、世界遺産にも登録されている



中尊寺金色堂にて

「平泉文化」を象徴する中尊寺と毛越寺、くわえて、惜しくも現在は断片化してしまっているものの、造形的には一級の質を誇る二十五菩薩堂の諸仏を拝観しました。

今回の研修の二日目までは主に平安前期から中期に制作された仏像、三日目は平安後期における都の貴族文化を象徴するような仏像たちを拝観し、学生たちからは「こんなにも時代と地域によって違うのか」という感想を聞きました。各時代の彫刻造形様式の特徴と、その背景となる時代の変遷や地域性について、体感的に学ぶ機会になったと思います。

古代から中世にかけて東北地方の人々が被った争乱の歴史とともに、そこで培われた特有の祈りを、仏像たちは体現しています。そして、このような文化的土壌で育った宮沢賢治の信仰生活にも、その祈りが濃厚に反映されていることを、学生たちは感性的に掴む機会に恵まれました。

立正大学仏教学部で学びませんか？ —今後の日程—

- ◎科目等履修生制度 僧階講座などを受講する制度で、単位を修得できます
春期出願期間：令和7年3月6日（木）～10日（月）
※詳細につきましては、立正大学ホームページ（https://www.ris.ac.jp/faculty_graduate_school/license_qualification_program/system_guidance/index.html）をご確認下さい。
- ◎社会人オープン講座 単位認定はありませんが、学部より修了証が交付されます
出願期間：令和7年2月20日（木）～3月5日（水）まで【必着】（郵送のみ）
面接選考：令和7年3月27日（木）14：00より
※詳細につきましては、立正大学仏教学部ホームページ（https://bukkyo.rissho.jp/news/240209_open_society.html）をご覧ください。
- ◎春のオープンキャンパス
品川キャンパス：令和7年3月16日（日）10：00～16：00
※参加にあたっては事前申込みが必要となります。内容・参加方法などの詳細につきましては立正大学入試情報サイト（<https://admissions.ris.ac.jp/>）の「イベントに参加する」>「オープンキャンパス」をご確認下さい。